

# 人文科学研究所研究叢書

## 62.『アーサー王物語研究 源流から現代まで』

2016年3月1日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格4,600円（税別）

ISBN 978-4-8057-5346-0

まえがき	
<b>第一部 アーサー王物語の源流</b>	
アーサー王文学の発生と展開 一八世紀から十三世紀まで一	フィリップ・ヴァルテール(渡邊浩司訳)
ウェールズ伝承文学におけるアーサー物語の位置づけ	森野 聡子
<b>第二部 円卓騎士の諸相</b>	
乳兄弟と兄弟愛 —トマス・マロリーの『アーサー王の死』におけるケイの描写—	小宮 真樹子
スコットランド抵抗の象徴 モードレッド	小路 邦子
ゴーヴァンの異界への旅 —クレティアン・ド・トロワ作『聖杯の物語』後半再読—	渡邊 浩司
<b>第三部 オランダと北欧のアーサー王物語</b>	
中世ネーデルランドにおけるアーサー王文学 —ワルウェインをめぐる—	栗原 健
フェロー語バラッド『ヘリントの息子ウィヴィント』の三ヴァージョンと ノルウェー語バラッド『エルニングの息子イーヴェン』	林 邦彦
<b>第四部 近現代のアーサー王物語</b>	
二人の魔術師 —マーク・トウェイン『アーサー王宮廷のコネティカット・ヤンキー』に おけるアーサー王物語—	近藤 まりあ
アーサー王物語とJ・R・R・トールキン —アヴァロンとエレッセア—	辺見 葉子
アーサー王伝説とミシェル・レリスの「聖杯探求」が出会うとき —Beadeverの名をめぐる—	本田 貴久
ペルスヴァル、バルジファルとパーシヴァル少年 —クリスティーナ・ペリ・ロッシ『狂い船』、「聖杯の騎士」の章を読む—	南 映子
研究活動記録	